




いじめ防止取組集

～児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介～

令和6年度
石狩市教育委員会



児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立石狩八幡小学校		
校長名	重山 麻人	教頭名	鈴木 伸和
住 所	石狩市八幡4丁目167番地	電話番号	0133-66-3009
児童生徒数	90名（ 男子44名： 女子46名 ）		
取組内容	<p>「いじめ防止標語」コンクール</p> <p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none">・「いじめを起こさない」という雰囲気を校内に広げる。・いじめを自分事として考え、「いじめを許さない」という気持ちを育てる。 <p>2 時期</p> <ul style="list-style-type: none">・6月から7月にかけて、標語の募集と入賞作品の紹介を行う。 <p>3 具体的な取組</p> <p>児童会が中心となって、全校児童にいじめ防止のための標語の募集を呼びかけます。</p> <p>1・2年生は、学級内で話し合いを行い、クラスで一つ標語を作成します。3年生から6年生は、一人ひとつ標語を考えて、児童会に提出します。3年生以上の児童の標語については、児童会役員と先生方により、「いじめはダメ」「みんなで仲良くしよう」というメッセージが伝わる標語を選び、それを入賞作品とします。入賞作品は、「いじめゼロ集会」で、全校児童に紹介します。集会では、なかよしタイムとして「じゃんけん列車」「もうじゅうがりに行こうよ」を全校で行い、異学年との交流を楽しむことができました。</p> <p>石狩八幡小学校が開校してから続いている取組で、児童の心の中に「いじめはダメ」という気持ちが育っています。</p>		
学校PR	開 校	5年目	開校記念日 7月12日
	石狩八幡小学校は、令和2年度に開校した石狩市で最も新しい学校です。校区内には、石狩川河口橋があり、西は日本海、東は丘陵地があるととても自然豊かな学校です。全校児童は90名で小規模な学校ですが、その特徴を生かして、縦割り班活動を中心に、子ども同士のふれあいを大切にしています。また「ふるさと学習」に力を入れ、「魚の網外し体験」「石狩鍋づくり」「石狩湾新港施設見学」「砂丘の風資料館見学」「石狩浜の環境調査」など、地域の歴史や産業に触れる学習に取り組んでいます。		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立花川小学校		
校長名	若林 公一	教頭名	金丸 剛輝
住 所	石狩市花畔1条1丁目7番地	電話番号	0133-64-5316
児童生徒数	236名（ 男子 118名： 女子118名 ）		
取組内容	<p>☆ 児童集会</p> <p>(1) 日時 令和6年7月23日（火） 3校時</p> <p>(2) 会場 花川小学校体育館</p> <p>(3) ねらい 全校児童が、児童会（書記局、各委員会）の活動に興味を持ち、学校の一員として活動に参加しようとする態度や活動意欲を高めるとともに、揃って活動を行うことで、互いに交流し1人ひとりの自己有用感を高める。</p> <p>(4) 内容 ① 各委員会で、全校児童が楽しく交流できる内容を工夫して準備を進め、集会の中で担当するプログラムの進行を務める。 ② 代表委員は、特に「いじめの防止」をテーマに活動を計画する。 ③ 全校合唱（手話付き）を行い、全校児童の一体感を高める。</p> <p>(5) 当日の様子</p> <div>  <p>代表委員は、事前に募集した「いじめ防止」の標語から、各学年の優秀作品を選び発表。</p> </div> <div>  <p>保健委員は、全校で行った「給食についてのアンケート」の結果を、フリップを活用しながら発表。</p> </div> <div>  <p>プログラムの最後は、今年度学芸委員会の呼びかけで全校で練習している手話付きの歌、「世界に一つだけの花」を全校児童で合唱。</p> </div>		
学校PR	開 校 152年目		開校記念日 6月10日
	<p>石狩市はもとより管内的にも屈指の歴史を持つ本校は、保護者や地域の皆様の温かく大きな支えの中で、時代の変化に合わせながら、子どもたちの健全な成長のために日々の教育活動に取り組んでいます。</p> <p>一昨年の開校150周年を1つの区切りとして、これからの令和の時代を強く生き抜く力を子どもたちにつけるべく、ICTの活用や対話的・協働的な学びの充実を図りながら、保護者や地域の皆様と手を携えて、未来を生きる子どもたちを育ててまいります。</p>		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介				
学校名	石狩市立生振小学校			
校長名	田中 亮	教頭名	山森 聡	
住 所	石狩市生振375番地1	電話番号	0133-64-2018	
児童生徒数	73名（ 男子37名： 女子36名 ）			
取組内容	<p>年間の児童会の取り組み</p> <p>令和6年度の児童会テーマ 心～思いやりあふれる生振っ子～ 生振小学校に通う児童全員が心穏やかに楽しく過ごせるように、1年間を通して、思いやりについて考え行動できるようにテーマを設定した。</p> <p>1. 「思いやり貯心（ちょこころ）」 期間内に「ありがとう」「素直なごめんね」「思いやりのある行動」の3つを友だちからしてもらったり言ってもらったりした数を全校で集計する活動を行った。集計はそれぞれの項目にハートを貼り付け、4枚集まるとクローバーになるようにし、校内を思いやりのクローバーであふれさせた。</p>  <p>2. 「いじめについて考える集会」 12月4日（水） 3校時 書記局で現在の生振小学校でいじめにつながりそうなことはないか考えたところ、仲はいいのだが言葉遣いが乱暴になることや強い表現をしてしまっている人がいることが問題点として挙げられた。今年度は体育館に全員が集まり、6年生を中心に全学年が入っているグループ（レインボー班）に分かれて活動を行う形式とした。集会の中では、「レインボー班ごとに最近の自分の言葉遣いについて振り返るとともに、これからの学校生活の中で気をつけていくことを考えてもらった。話し合い後には、全校の仲をより深めるために「ほめほめ集まれゲーム」をした。指定された人数で集まり、右隣の人をとにかくほめるゲームで、体育館内があたたかな言葉と空気で包まれた中、集会を行うことができた。</p>  <p>3. 三校合同「いじめ撲滅集会」12月17日（火） 3校時 石狩中学校に本校の6年生が行き、石狩八幡小学校の5、6年生を合わせた3校でいじめ撲滅集会を行った。今年度のテーマは、「いじりといじめの違い」についてだった。中学生を中心に話し合い活動をし、相手が嫌だと思うことはいじめであるということについて再認識する会となった。</p> 			
	学校PR	開 校 128年目	開校記念日 12月19日	
		特認校として市内全域から児童を受け入れ、豊かな自然環境などを生かした特色ある教育活動を行っています。「ユネスコスクール」の認定を受け、地域・保護者の皆様の支援をいただき「学校田活動」や「世界寺子屋運動」など様々な活動を行っています。		






児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立南線小学校		
校長名	渡會 朋広	教頭名	佐藤 崇徳
住 所	石狩市花川南3-1-18	電話番号	0133-73-2042
児童生徒数	937名（ 男子486名： 女子451名 ）		
取組内容	<p>集会名 思いやり集会</p> <p>期日 12月6日（金） 3校時</p> <p>関連する教育目標 ねらい ・ 優しく思いやりのある行動をする子（なかよく）</p> <p>① 相手を思いやる気持ちについて、一人一人が主体的に考える。</p> <p>② 全校みんなで思いやりについて考え、思いを伝える。</p> <p>内容 <事前学習></p> <p>①いじめや人権について学習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめや人権に関するDVDや本などの資料を見て一人一人考え、ワークシートに自分の考えを書く。 <p>※図書司書によるいじめに関する本の紹介</p> <p>②思いやり標語を書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化委員会から提案。全校児童の標語を廊下に掲示。 <p>※「標語」という形にとらわれず、学年の発達段階に合わせた形で取り組んでよい。（「思いやりが感じられる言葉」など）</p> <p>③集会の参加態度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集会の意義を考え、私語をせず、立腰の姿勢で臨むこと。 <p><当日集会進行内容></p> <p>① あいさつ</p> <p>② 校歌</p> <p>③ 集会テーマの発表・・・書記局</p> <p>④ 「思いやり標語」文化委員会・・・各学年から優秀作品を発表</p> <p>⑤ 全校合唱・・・「音楽のおくりもの」</p> <p>⑥ 校長先生の話</p> <p><事後指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思いやりについて自分の考えをふり返る。 <div>   </div>		
学校PR	開 校 124年目		開校記念日 10月20日
	<p>・ 6年生が「朝のさわやか活動」としてあいさつ運動に取り組んでおり、毎朝玄関ホールでは気持ちのよいあいさつの声が聞こえてきます。代表委員会と連携した取組も実施し、あいさつの輪がどんどん広がってきています。歴代の6年生が築き上げた伝統を、しっかりと引き継いでいきます。</p> <p>・ 思いやり集会に向けて、児童会が中心となって「思いやりのあふれる学校にしよう」と積極的に活動しました。「思いやりの標語」は集会後に体育館前廊下に掲示して、1～2月はみんなが見ることができるようになっています。他の学年の友達の考えを知ることができるよい機会になっています。</p>		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立花川南小学校		
校長名	熊谷 清秀	教頭名	松野 真也
住 所	石狩市花川南6条5丁目ー1	電話番号	0133-73-1924
児童生徒数	561名（ 男子275名： 女子286名 ）		
取組内容	<div>後期児童会テーマ</div> <div></div> <div>全校集会の流れ</div> <div>1, 映像を見て考えよう</div> <div>2, 絵本を見て考えよう</div> <div>3, みんなで楽しもう</div> <div><div>書記局作成ムービーを見てみんなで考えよう！</div></div> <div>書記局が作った詩をはじめに読むので そのあとに続いて みんなで読んでみましょう。</div> <div>友だちってすばらしい</div> <div>助け合えて 語り合える</div> <div>友だちって 信らいできる</div> <div>助け合えて 手放してはいけない</div> <div>友だちって 笑いあえる</div> <div>そんな友だちと いっしょにいたい</div> <div></div> <div>集会の最後には、スマイル列車（ジャンケン列車）を行いました。「Bling-Bang-Bang-Born」の曲に合わせて、全校が楽しそうにゲームに参加していました。</div> <div>この全校集会を通して、一人一人が生活リズムや友達の大切さについて考え、全校で交流することで他学年との関わりをもつことができました。</div>		
	<div>全校集会 実施日 2025年1月17日（金）</div> <div>※12月実施予定だったが学校閉鎖により延期</div> <div>後期児童会テーマ「Smile Gift」に基づき、後期児童会書記局6名で、全校生徒に笑顔を届けるために『生活リズム』と『ともだち』について考え、最後には全校が笑顔になるゲームをするという全校集会を企画しました。並び方は、他学年とも交流できるように1年4年2年5年3年6年と低学年と高学年が隣り合うようにしました。</div> <div>初めに書記局児童が作った映像を見て、起きる時間や朝ごはんを食べることの大切さについて考えました。</div> <div>次に、「ともだち」という絵本を書記局が読み聞かせをしました。ともだちはどんな人のことをいうのか、ともだちがいれば楽しく過ごせることやともだちが困った時どうしたらいいかについて書かれた本です。読み聞かせを聞きながら、自分の友だちの名前を発表したり、こんな時どうすればいいかについて意見を発表したりしてもらいました。読み聞かせの最後には、書記局が作った『ともだちの詩』を全校みんなで声に出して読みました。</div>		
学校PR	開 校	45 年目	開校記念日 11月29日
	花川南小学校は重点教育目標として「心ぽかぽか 瞳きらきら 元気もりもり」を合言葉に教育活動を実施しています。子どもたちや地域の方にも馴染み深い言葉となっています。 令和6年度の花川南小学校児童会では、前期テーマ「Smile Jump」、後期テーマ「Smile Gift」を合言葉に、自分が、そしてみんなが笑顔になる取組、そして相手に笑顔を届ける取組を児童会が主体的に企画し、全校集会だけではなく、様々な活動を実施してきました。 今後も一人一人の思いを大切にしながら、心がぽかぽかになる活動を続けていきます。		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立紅南小学校		
校長名	日下部 匡彦	教頭名	赤井 真美子
住 所	石狩市花川北6条1丁目1	電話番号	0133-74-0318
児童生徒数	360名（ 男子183名： 女子177名 ）		
取組内容	行事名	なかよし集会	
	実施時期	隔年開催 12月2週目	
	ねらい	児童の学校生活に規律、秩序をもたせるとともに、児童会の一員としての自覚を育てる。	
	内容	<p>いじめについて知り、考え、自分や友だちを大切に生活できるようにする。</p> <p>2022年度 書記局が呼びかけ、各クラス向けのクイズを作成した。集会当日までその答えを掲示できるよう書記局が準備し、Teamsの会議機能でリモート開催の形で行った。各教室と放送室をリアルタイムで中継し、全校のクラスと仲良くする意識を育てた。</p> <p>2024年度 人権に関わる絵本の読み聞かせを書記局と司書が行った。兄弟学年でペアになり、いじめに関する3択クイズの答えを一緒に考えた。全校の集計がコラボノートのアンケート機能ですぐわかるようにし、視覚的にも正しい行動を訴えられた。</p>	
	今後の展望	コロナ禍のため、リモート開催が続いたが、「いじめ防止」「他を尊重して仲良く」の考えを浸透させるために工夫を重ねてきた。コロナが5類になり、全校集合形態での集会が実施可能となったが、内容を精査し、「なかよし集会」の意義を確かめながら続けていく。	
学校PR			
	開 校 40 年 目		開校記念日 2月3日
学校PR	書記局を中心とし、代表・体育・環境・図書・放送の各委員会が各年度の児童会テーマに沿った活動計画を立て、前期・後期にわかれて4年生以上の全児童が携わる形で児童会活動を行っている。児童会テーマ案には必ず「いじめ0」「なかよく」「協力」といったキーワードが出され、児童自らの意識の高さがうかがえる。教師はそれを具現化させる助言をし、児童の力で形にする経験をさせている。		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立緑苑台小学校		
校長名	林 克哉	教頭名	児玉 憲彦
住 所	石狩市緑苑台中央3－603	電話番号	0133-76-1990
児童生徒数	302名（ 男子147名： 女子155名 ）		
取組内容	<p>おもいやり集会 ～いじめをしない、させない、ゆるさない～ 7月実施</p> <p>（1）ねらい 全校でいじめについて考え、思いを伝える。</p> <p>（2）実施 ①事前に、3年生以上の各学級で、いじめ防止に関する標語を書く。 学級から代表の作品を決める。 ②全学年が集会に参加。各学級の代表作品を発表する。 ③児童会書記局が、いじめに関する本の読み聞かせをする。 感想発表をする。（1，2年生には、事前に児童会書記局が、別の本も朝読書で読み聞かせをする。） ④その他、全校合唱等を行う。</p> <p>土曜授業日に実施し、保護者や学校運営協議会の委員も参観できるようにした。</p>		
	<div></div> <p>同時期に、学校司書が図書室にいじめに関わる絵本コーナーをつくった。</p>		
学校PR	開 校 22年目		開校記念日 9月29日
	<p>平成15年に、花川小学校、若葉小学校を母体校として分離設立され、開校21年目を迎えた。 校舎は、多様な活用を図ることができるように1階から3階まで吹き抜けの多目的ホール、2学級連結の教室とワークスペース、ミニ児童館が併設されるなど、工夫されたつくりとなっている。 校区は緑苑台地区と花川東地区で、大型商業施設のある落ち着いた住宅地と、紅葉山南公園やパークゴルフ場が隣接し、自然豊かな広々とした環境にあり、地域とともに、〇心豊かで、思いやりのある子 〇明るく元気で、たくましい子 〇進んで学び、表現する子 を教育目標とした学習活動を展開している。</p>		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立双葉小学校		
校長名	東峰 宏紀	教頭名	中村 達矢
住 所	石狩市花川北4－3－1	電話番号	0133-74-0494
児童生徒数	262名（ 男子 145名： 女子 117名 ）		
取組内容	<p>行事名 いじめをなくそう集会</p> <p>目的： ・全児童にいじめは、どんな理由があっても絶対にいけないという 共通認識をもたせる ・仲間を大切にする心を育てる。</p> <p>時数： 行事 1</p> <p>日時： 7月2日</p> <p>場所： 体育館</p> <p>進行： 生活委員会</p> <p>内容： ①生活委員長のあいさつ ②読み聞かせ ③いじめに関するクイズ</p>		
	    		
学校PR	<div>開 校 16年目</div> <div>開校記念日 10月17日</div>		
	<p>本校は、石狩若葉小、石狩紅葉山小学校が統合してできた学校です。「双葉小スタンダード」によって、学習規律の定着や定期的な評価の改善がなされ、全学年統一した形の指導を行っています。PTA活動は、サポーター制度を取り入れ全会員がPTA活動に参加する取り組みをしています。</p>		





児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立浜益小学校		
校長名	鬼塚 建次	教頭名	高橋 真吾
住 所	石狩市浜益区柏木1－17	電話番号	0133-79-3124
児童生徒数	28名（ 男子 17名： 女子 11名 ）		
取組内容	<p>①思いやり集会 9月 ねらい 全校児童が、他者を思いやり気持ちを持ち、お互いを認め合い、いじめのない学校にしようという意識を高める。</p> <div><div><p>①はじめの言葉 ②ゲーム交流 ・借り人競争 ・新聞紙じゃんけん ③感想交流 ④校長先生のお話 ⑤おわりの言葉</p></div></div>		
	<p>②ふれあい給食 2回（6月・11月） ねらい 異学年が、協力して給食準備をしたり、食事中にコミュニケーションをとるなど相互理解を深める。</p> <div></div>		
学校PR	開 校 26年目	開校記念日 9月16日	
	地域が非常に協力的であるので、多くの体験活動を行っている（例 田植え活動・稲刈り活動、小中合同運動会、沖揚げ音頭、収穫祭など）。また、小規模校（全校児童28名）のため体験活動は、主に縦割りの班活動で実施している。そのため、自然と上級生が下級生のお世話をや手伝いをしたり、相手の事を考えて思いやりを持って接することが大切な場面が数多くある学校である。		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立石狩中学校		
校長名	坂見 明信	教頭名	森野 泰宏
住 所	石狩市志美293-30	電話番号	0133-62-5004
児童生徒数	58名（ 男子26名： 女子32名 ）		
取組内容	<p>12月17日（火）いじめ撲滅集会【生振小・石狩八幡小・石狩中 3校合同】 〈内容〉</p> <p>1. 事前の取組 (1)学級活動において、「いじりといじめの違い」を題材に、「いじめの定義」について考える授業を行った。「いじめ防止対策推進法」に記されているいじめの定義について、各学級で生徒同士の対話を通して確認した。 (2)小中合同で「認～いじめは認めず、優しさを認める～」に基づいた大きな1つの掲示物を作成した。児童生徒が「いじめを撲滅するために何をするか」というテーマに対して一人一人ができる取組を花びらの用紙に記入し、大きな花束になるように掲示物を作成した。 (3)参加する児童生徒を対象にFormsを使って、「いじめは絶対に許されないことだと思うか」のアンケートを実施した。【肯定的回答97%】</p> <p>2. 当日の取組 石狩八幡小学校第5・6学年、生振小学校第6学年と合同で、次の2つのテーマについて縦割りの小グループをつくり、いじめかいいじりかを考え、その理由について対話を通して意見交換を行った。 テーマ①「頭悪くて馬鹿だからあだ名ダチョウねといわれた。」 ②「お前、〇〇が下手だなーと言われた。」 対話の場面では、「相手が嫌がっているのでいじめだと思う。」「相手を思いやっていないし、言われたら嫌な気持ちになると思う」など、多くの意見が出ており、生徒の主体的な活動となった。</p> <p>3. 事後の取組 (1)アンケートの実施 ○いじめは絶対に許されないことだと思うか【肯定的回答97%】 ○集会を終えて、これからどのように過ごすか 「いじりといじめの差は個人で違うので、発言に気を付けながら生活する。」 「たとえ自分が軽い気持ちでいじっても、相手はすごく傷つくときがあるから、いじりをしない」 (2)生徒会便りの発行 集会の様子、アンケート結果について、生徒会便りを発行し、児童・生徒に情報発信するなどして共有し、意識の向上を目指した。 (3)掲示物の共有～原版を印刷(A2)したものを、両小学校へ寄贈した。</p> <div>    </div>		
学校PR	開 校	45年目	開校記念日 11月22日
	<p>本校は、昭和55年4月に、旧石狩中・高岡中・生振中の3校が統合し「石狩町立石狩中学校」として開校しました。当時257名だった生徒数は令和7年3月現在58名に減少し、各学年1クラスとなりました。少ない人数を強みに石狩八幡小・生振小との小中連携教育を進めたり、石狩八幡小学校とは合同でCS委員会を設置したりしています。また、石狩さけまつりに生徒会企画で参加するなど地域とともに歩む学校として活動を進めています。</p>		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立花川中学校		
校長名	松原 謙二	教頭名	板谷 文美子
住 所	石狩市	電話番号	0133-74-2032
児童生徒数	399名（ 男子 208名： 女子 191名 ）		
取組内容	<p>■ねらい いじめについて考える機会とし、いじめをなくし、全校生徒が安心して過ごせる学校づくりに向けた意識を高める。</p> <p>■内容 《7月4日～10日》 いじめ根絶標語の作成 《7月中旬》 事前アンケートの実施 《8月27日》 夏休み明け、体育館でいじめ根絶集会を行う。生徒会から全校生徒へアンケートの結果を周知し、生徒会役員が作成したいじめに関する動画を視聴し、いじめ根絶について考え、話し合う時間をもった。全学級のいじめ根絶標語を発表し、生徒会からいじめ根絶宣言を発表した。</p> <div>     </div>		
学校PR	開 校 38 年 目		開校記念日 6月1日
	<p>本校はユネスコスクールであり、今年度からESDを学校経営の中心とし、心の中に平和のとりでを築く生徒の育成を目指しています。「花中平和プロジェクト」と称して「人権」「環境」「防災」をテーマとした教育活動を推進し、地域の方を講師として招聘した「環境教室」や生徒会企画のSDGsビンゴ、SDGsを取り上げた授業交流などを行いました。文化発表会で一連の学習の成果を発表しました。</p>		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立花川南中学校		
校長名	川端 健裕	教頭名	小川 琢治
住 所	石狩市花川南9条4丁目94番地	電話番号	0133-73-6104
児童生徒数	296名（ 男子154名： 女子142名 ）		
取組内容	<p>1. 日時 令和6年5月17日（金）5校時</p> <p>2. 場所 花川南中学校 体育館、各教室</p> <p>3. 内容</p> <p>「いじめを絶対に許さず、いじめを起こさない」学校を目指して、生徒会主導による集会を毎年5月に実施している。生徒会役員が制作したいじめを題材にした映像を全校生徒で視聴し、視聴後にいじめ役・いじめられ役を演じた生徒会役員がそれぞれの立場で感想を発表した。集会の最後は、生徒会長が「いじめ撲滅宣言」を発表し、花川南中学校は「いじめを絶対に許さない」ことを全校生徒で採択した。</p> <p>集会終了後は教室へ戻り、いじめアンケートに取り組んだ。さらに、集会の内容や日常生活を振り返り、生徒一人ひとりが「いじめ撲滅宣言カード」を作成した。「宣言カード」は代表委員会が学級ごとにとりまとめ、学年廊下に掲示した。</p> <p>いじめを起こさない雰囲気をつくり、未然防止の意識を高めるため、生徒一人一人にいじめを自分事として考える機会となった。</p> <div></div> <div><p>いじめ撲滅宣言</p><p>私たち南中生は、身の回りで起きるいじめを決して起こさず、見逃さず、みんなが安心して過ごせる南中を目指します。</p><p>令和6年5月17日</p><p>生徒代表 ○○○○</p><p>生徒会長が読み上げた『いじめ撲滅宣言』</p></div> <div><p>宣言カード</p><p>_____ _____ _____</p><p>年 組 名前 _____</p><p>生徒一人ひとりが記入した『宣言カード』</p></div>		
学校PR	開 校 47年目	開校記念日 5月2日	
	<p>R6年度生徒会書記局では、「虹」をスローガンに掲げ、“生徒一人ひとりの様々な色を個性に例え、そして、それが結集することでさらに綺麗な色を出す南中になるように”という願いを込めた。生徒一人ひとりが個性豊かに毎日の学校生活がより良いものになることを目標に活動を進めてきた。</p> <p>日常の定期活動の他に、生徒会が主体となってボランティア清掃や募金にも取り組んだ。</p>		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立花川北中学校		
校長名	大西 智彦	教頭名	高橋 仁
住 所	石狩市花川北3－4－130	電話番号	0133-74-5957
児童生徒数	255名（ 男子 134名： 女子 121名 ）		
取組内容	LED集会 令和6年度12月24日		
	毎年、本校では全校生徒でいじめについて考える集会、「LED集会」を行っております。		
	「LED」とは		
	L：Little E：Early D：Damage		
取組内容	の頭文字で、いじめの未然防止について考えることはもちろん、万がいじめが生じた際に最小限に（Little）早急に（Early）、ダメージを少なくするにはどうしたら良いかを全校生徒で考えるための集会で、生徒会が中心となり、行っています。		
	集会の前には各学年で決めたテーマに基づいて、それぞれの学級で2回の活発な討議が行われ、その結果を各学年の代表者と生徒会役員が集会でプレゼンテーションをしました。		
	今年度は3名の人権委員の方々にご来校いただき、それぞれの発表に対してご意見をいただいたり、いじめの防止と人権の意識に関わってお話をいただきました。		
			
学校PR	開 校 45 年 目	開校記念日 5月9日	
	校庭は開放的で、豊かな緑に囲まれ、落ち着いた環境が広がっています。毎年春になるとグラウンド脇の桜がきれいな花を咲かせ、生徒たちの成長をずっと見守ってきました。広いグラウンドと体育館に恵まれており、明るく、近代的な校舎内に目を移すと、生徒たちが、自らの資質・能力を高めようと日々、学習、生徒会活動、部活動に打ち込んでいる姿を見ることができます。学校の公開日も設定しております。ぜひ、足を運んでいただき、生徒の活動の様子をご覧になっていただければと思います。		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立樽川中学校		
校長名	小森 享	教頭名	小林 淳
住 所	石狩市樽川6－3－600	電話番号	0133-74-2353
児童生徒数	458名（ 男子 233名： 女子 225名 ）		
取組内容	<p>いじめについて考える集会 まず、生徒会役員が話し合いを行い、「いじめ」について全校生徒に問題提起する内容について考えた。 また、考えた問題提起にふさわしい動画を生徒会役員が作成した。 集会は放送形式で行われ、全校生徒で選定された動画を視聴した。 動画視聴後に、各学級で意見交流を行い、いじめに対する考えを交流した。</p> <p>最後に、生徒一人ひとりが「標語」を考え、クラス内で交流を行った。 全校生徒の作品の中から、各学年1点ずつを選び、全校生徒に披露した。</p> <p>最後に、学校長より自身の経験をもとに、「いじめ」についての講演を聴き、全校生徒で共有した。</p> <div>     </div>		
学校PR	開 校 30 年 目		開校記念日 10月9日
	学校ホームページ https://www.fureai-cloud.jp/tarukawa/		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立浜益中学校		
校長名	細田幸男	教頭名	久富 綾一
住 所	石狩市浜益区柏木1－17	電話番号	0133-79-2046
児童生徒数	12名（ 男子4名： 女子9名 ）		
取組内容	<p>生徒会企画「ハマスマ」</p> <p>全校生徒が笑顔で学校生活を送れるように、生徒会が日常的に「ハマスマ」という企画を行っている。レクリエーションを通じて良好なコミュニケーションができ「いじめ防止」にもつながっている。</p>		
			
学校PR	開 校 78 年 目		開校記念日 6月1日
	<p>石狩管内の最西端・最北端に位置する石狩市浜益区は、2本の幹線国道沿いに形成された13の集落から構成されている。浜益区は山と海に囲まれ、歴史的の価値のある遺産の“岡島洞窟”“庄内藩陣屋跡”“練番屋（郷土資料館）”等が身近にあり、自然・文化的に大変恵まれた教育環境にある。自然と自然を生産基盤としている第一次産業を積極的に教育活動に活用し、学習の場を広げてきた。現在、総合的な学習の時間（ふる里学習）を中心として、教育課程に位置付けられた取り組みがなされ、1年生の“りんご栽培学習”“漁師の出前授業”、“2年生の区内職業体験学習”等が行われている。（浜中の教育より抜粋）</p>		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介			
学校名	石狩市立厚田学園		
校長名	立崎 寿朗	教頭名	高砂俊克（前期）・堀部秀成（後期）
住 所	石狩市厚田区厚田171番地1	電話番号	0133-77-5356
児童生徒数	40名（ 男子19名： 女子21名 ）		
取組内容	<div></div> <p>9年間の義務教育学校である厚田学園は、児童会と生徒会が合わさった児童生徒会による活動が行われています。児童生徒会役員が中心となり、「仲良くいじめのない学校」にするために、様々な活動を企画し、課題未然防止教育（先行的）に取り組んでいます。</p> <p>年間を通じて児童生徒会が中心となり、学年同士の関係はもちろん、縦割りの活動を通して、児童生徒間の交流を深め、いじめを未然に防ぐ取組を進めています。「兄弟学年ウィーク」の期間では交流を深めることを目的に、上級学年が下級学年と交流する内容を企画・検討して進めます。昼休みの時間を利用したこの活動から、友達や仲間を思いやる気持ちや、支えあうことの大切さを学んでいます。</p> <p>後期は、後期課程の生徒による前期課程の児童への「絵本の読み聞かせ」を行いました。「あいかぜとしゃかん」の司書さんから、選定する本のアドバイスをもらい進めました。絵本の世界の楽しさを通して、学年間の交流を深める取組を進めています。清掃も縦割りでい、校内環境整備に努めるなど、発達支持的生徒指導を心がけています。</p>		
	<div></div> <p>昨年度から、「わくわくふれあい給食」がスタートしました。全校生徒が多目的室に集まり、異学年と一緒に給食を食べています。テーブルごとにクイズやテーマを決めて話し合い、学年を超えた関係を深め楽しい時間を過ごしています。対話を通じて、自己表現力を高め、他者を思いやる心を育てています。</p>		
学校PR	開 校 5 年 目		開校記念日 2月1日
	<p>2019年度をもって厚田小、厚田中、聚富小学校が閉校となり、聚富、望来、厚田、発足地区を校区とする義務教育学校の「厚田学園」として2020年度に開校しました。開校と同時にスタートした「厚田コミュニティ・スクール」も今年で5年目を迎えました。今年度は、地元の魅力を再確認する取り組みとして、8年生が地元厚田を紹介する「冊子」を厚田支所の協力を得ながら作成しました。自主研修先の札幌で紹介する活動に加え、「道の駅」の協力を得て、冊子を置かせてもらうなど、学習内容を発信する活動にも力を注いでいます。</p>		